

地域&世代間交流 50年の節目を飛躍の年に!

第15回 夏のつどい



令和5年8月26日(土)

いなみ野学園キャンパス

夏のつどいが終わって

夏のつどい実行委員長
光田 芳弘



昨年、コロナ禍後再開しました夏のつどいも、二年目を迎え、入場制限等もなく、コロナ禍以前と同じ状態で実施できました。出演者も、観客も実に充実した顔に見えました。

大講堂での諸演技、大教室での展示並びに普通教室での種々のイベント等、同窓研修会の各位の日頃から積み上げてきた成果が遺憾なく発揮されていました。また、本年はひょうご憩の宿、浜坂温泉保養荘の展示も復活し、コロナ禍以前の状態に完全に復帰した催しとなりました。大講堂では、幼稚園児の可愛い歌声をはじめ各種ゲストの演技と、素晴らしい出演の連続でした。

大教室の展示には、平岡中学校の作品展並びに考古博物館の“組紐”も現れました。また、普通教室のイベントには、はるばる神戸大学のロボットも、夏のつどいを盛り上げてくれました。以上のイベントに加え、屋外では例年通り、“カラオケ大会”も実施されました。同窓研修会役員並びに各団体の皆様が持ち場の役割を果たし、しっかりと遂行していただき、成功裏に実施できた結果であるとおつくづく感謝しております。ここに改めて感謝の気持ちを述べる次第です。

地域&世代間交流 50年の節目を飛躍の年に！

初めの挨拶で、林省吾生きがい創造協会理事長兼いなみ野学園長が話されたこと、私たちにとってはとてもインパクトのあるものでした。

「創立50周年」の今年、その節目として「同窓研修会宣言」をしました。それに触れ、「生涯学習を続けて行きましょう。仲間の輪を広げていきましょう。世代間交流・地域貢献に努めましょうと3本の柱を高らかに謳われたわけであります。「夏のつどい」は同窓研の皆さんにとっては、地域の皆さんと交流することに本当に大切な大きな行事の一つであるということです」と話していただきました。



正に、「夏のつどい」は「地域&世代間交流」の場であり、今年のスローガン「50年の節目を飛躍の年に！」の言葉通りに、本当に飛躍できた「15回大会」となったと言えるのではないのでしょうか。

大勢の参加者を得て、大いに盛り上がった今年の「夏のつどい」、来年も更に盛り上がるものにしていかねばと思います。

イベント内容

オープニング演奏

兵庫大学附属加古川幼稚園



作品展示

日頃の成果を展示

市立平岡中学校（特別出展）
表装・絵手紙・俳句・水墨・
パソコンアート・書道・
写真・能面・川柳・絵画・手芸・手描き友禅



ゲスト出演

- *ハーモニカ演奏『いなみ野 神崎』
- *トーンチャイム・コーラス
『兵庫大学 エクステンション・カレッジ クール・アザレ』
- *男声合唱『デュークダックス』
- *和太鼓の演奏『“夢（どりのいむ）”』
- *歌謡ショー『丘川まゆみ』
- *吹奏楽演奏『兵庫県立農業高校吹奏楽部』

ちびっ子コーナー

ちびっ子！ 全員集合
マジック・けん玉・バルーンアート



ロボットと遊ぼう

神戸大学ロボット研究会
レスキューロボット



カラオケ大会

飛び入り！
大歓迎



お好み対局

将棋コーナー 囲碁コーナー
自由対局 自由対局
詰め将棋



茶道

お茶を楽しむ
お抹茶とお菓子のおもてなし



体験コーナー

楽しい体験です！
組紐づくり（兵庫県立考古博物館）
絵画・手描き友禅・水墨



文化芸能

日頃の成果を発表

- 盆踊り・詩吟・マジック・ハンドベル演奏
- 民謡・歌謡曲・太極拳・銭太鼓・傘踊り・新舞踊
- 男声合唱・和風踊り・ひよっこ踊り・英語の童謡合唱
- 南京玉すだれ・社交ダンス・混声合唱



オープニング 演奏



兵庫大学付属加古川幼稚園



ゲスト出演



いなみ野 神崎



兵庫大学 エクステンションカレッジ
クール・アゲ



ニューダックス



和太鼓の演奏「夢(どいいむ)」



丘川 まゆみ



県立農業高等学校吹奏楽部

文化芸能 日頃の成果を発表



銭太鼓サークル



民謡サークル



詩吟サークル



盆踊り愛好会

歌謡曲サークル



太極拳サークル



マジックサークル



カクテル一座



レインボー一座



男声合唱団 DBB+1



珍ちくりん劇団



日本笑福おどり協会



舞踊サークル



英会話サークル



社交ダンスサークル



南京玉すだれサークル



コーラスサークル

* 作品展示コーナー *

人生100年時代
ライフワークにチャレンジ!!



平岡中学校



絵画



水墨



絵手紙



写真



川柳



表装



書道



パソコン



能面



俳句



手芸



手描き友禅

仲間で力作発表!
楽しいですよ♪



ちびっ子コーナー・体験コーナー

「マジック」
てっぺん



「けん玉遊び」
チーム輪



「バルーンアート」
ピヨピヨ会



「組紐づくり」
考古博物館



「ロボットと遊ぼう」
神戸大学ロボット研究会



「水墨画」
水墨サークル



「友禅染め教室」
手描き友禅サークル



「絵画」
絵画サークル



「お点前を」
茶道サークル



「お好み対局」
将棋サークル



「お好み対局」
囲碁サークル



「カラオケ大会」
歌謡曲サークル



「50周年夏のつどい」～仲間との交流、地域交流の場～

夏のつどい企画委員長 光田 守

オープニングの兵庫大学附属幼稚園児の元気いっぱいの歌声が大講堂に響き渡りました。保護者のみなさんも我が子の姿をスマホに収めようと、動画撮影を一心にされてました。

8月26日(土)に開かれた同窓研修会の「夏のつどい」、今年で第15回目を迎えました。

同窓研修会創立50周年を冠しての「50周年夏のつどい」が9時からスタート。

大講堂では各サークル、ボランティアグループ、支部・OB会のみなさんによる演芸発表が。大教室では作品発表や親子体験教室が開かれ、普通教室ではちびっ子コーナーに手品、バルーン、けん玉、また神戸大学のロボット操作などもありました。

日頃の練習の成果発表の場であり、また、大勢のみなさんの前での舞台発表ですから、一層張り切ってがんばろうと言う気持ちで、素晴らしい演技を披露してくれました。大教室も、鑑賞にきてくれた人と互いに交流し合う場面が見かけられ、普段と違った雰囲気「夏のつどい」ならではの感じました。

県立農業高等学校の吹奏楽部も、自然と「アンコール！」が出るほどにいい演奏を聴かせてくれました。

若い人たちとの交流で華やかに爽やかな、そんなひとときを過ごせました。合唱や演奏を聴きながら、手拍子を打ったり、大きな拍手で応えたり、双方向がつながっているなど思える時間でした。そして、「久しぶりやな、元気にしてた？」など、旧交を温め合えるとてもいい機会の場合、それも「夏のつどい」のいいところではないでしょうか。

これからも、仲間との交流、地域交流を広げられるように、また一層盛り上げられるものにと、今後とも会員のみなさん、どうぞよろしくお願ひします。



協賛事業所等の紹介 (順不同)

JA加古川南	ちいさな居酒屋赤とんぼ	(有)市位尚文堂	椿園東加古川店
Coffee House Rocky	但陽信用金庫	K.M 総合保険サービス	カメラのアサヒ加古川
美容室 キャンディー	カラオケ喫茶 愛	寿司・仕出し・割烹 辨慶	カラオケ喫茶 梨花
和菓子 喜倉堂	ステフォレ(フジヤ號)	パストラル加古川	みどり園
JA兵庫南	イオン加古川店	すえひろでんき	兵庫大学
お食事処 うお市	(医)順心会 順心病院	葬儀社 花浄院	(合)岡田本家
婦人服 しもかわ	(株)不動産流通センター	釜谷紙業(株)	お料理 ときの
(一社)ひょうご憩の宿	浜坂温泉保養荘	ケーズデンキ東加古川店	喫茶いるか
(特養)万亀園	(特養)陽だまりの家	鹿島殿	アールシー食品(株)
(株)扶桑宝飾	マサタニダンススタジオ	(公社)加古川市シルバー人材センター	
名鉄観光サービス(株)神戸支店	カラオケ喫茶 いっぷく堂	ふれあい立ち飲み なかむら	
バンドー化学(株)加古川工場	多くの事業所等から協賛いただきました。ありがとうございます。		

発行者 いなみ野学園同窓研修会 TEL 079-424-3342 FAX 079-424-3475
 発行責任者 会長 光田芳弘
 発行担当者 副会長 中納幸夫 広報部 部長 篠原英昭 副部長 福本隆文 部員 吉崎正子・坂田美子

創立 50 周年創立記念式典

令和 5 年 5 月 13 日 いなみ野学園大講堂

昭和48（1973）年4月5日に学園を卒業した1期生が立ち上げた同窓研修会。今年（令和5年）、50年目を迎えました。一般的な同窓会ではなく同窓研修会としたのは、「研修をすること」がメインに据えての活動であることから。その「創立50周年記念式典」が「総会」に続いて開催されました。先輩たちが築き上げてきた50年の歴史を、私たちがしっかりと受け継いでいくこと、それが次の50年へと繋がって行くものとなるのですから。



野北浩三兵庫県東播磨県民局長（写真左）、林省吾生きがい創造協会理事長兼いなみ野学園長（中央）のあいさつがあり、お二人からは50年を続けてきたことの値打ちと今後の発展・広がりや、とのエールが送られました。続いてご来賓の皆様の紹介があり、顕彰された方々の「感謝状の贈呈」が光田芳弘同窓研修会会長（右）から行われました。

19名のみなさんの名前が読み上げられて、大きな声で挙手される方もおられました。

代表で加古川支部の芳本所縁（ゆかり）さんが感謝状を受けました。続いて、50周年を迎えての同窓研修会「宣言」です。

経緯についての説明のあと、光田会長が宣言を読み上げ、続いて全員起立で唱和しました。「一つ、学園卒業後も生涯学習を続けよう、一つ、学園活動を通じて仲間の輪を広げよう、

一つ、世代間交流・地域貢献に努めよう」と、全員で宣言し、記念式典を終えることができました。



「宣言」採択に至った経緯（光田守部長説明）

同窓研発足当時の会則では「学園を心のふるさととして、常に時代にふさわしい教育を身に付け、相互の親睦を図り、永久に生きがいのある生活に励むこと」とし、このことを目的として同窓研修会が始まりました。その設立当初の熱意を継承し、新たな時代を切り開く決意を「宣言文」で表明しようとなりました。

